

令和8年度 山形市立出羽小学校グランドデザイン

《20260401 初版》

日本国憲法
教育基本法
学習指導要領

〈本校教育の理念〉
自分の居場所で、自分の学びを
～安心、安全を基盤に～

- ・児童、学校、地域の実態
- ・児童の願いや思い
- ・保護者、地域の願い
- ・教師の願いや思い

第7次山形県教育振興計画
《基本目標》
ウェルビーイングを目指し、多様性
あふれる持続可能な社会の実現を担
う山形の人づくり
《方針》
①一人ひとりが自分らしく可能性に
チャレンジできる学びを実現する。
②誰一人取り残されず、誰もが続け
られる学びの機会を充実する。
③社会の変化に対応した学びの環境
を整える。
『体験』『探究』『尊重』『協働』

【学校教育目標】
自分・仲間・夢
『かがやく出羽の子ども』を育てる
【目指す学校像】
一人一人が、自分らしくかがやく学校
～よりよい自分をつくる～

山形市教育大綱
《基本理念》
郷土を誇りに思い いのちが輝
く人づくり～山形らしさの継承
発展 そして発信～
◇人や自然の営み、生きていること
への感動
◇多くの人や自然に、生かされ支え
られていることへの感謝
◇子ども・家庭・地域・学校の深い
信頼関係

《めざす子ども像》 かがやく出羽の子ども ～出羽の風土の中でよりよい自分の生き方を求める子ども～

こころゆたかな子ども
かしこい子ども
たくましい子ども

- 多様に心を開いて、協働・共生を求める子ども
- 未来を切り拓く視座をもち、主体的・対話的で深い学びを求める子ども
- 自他を尊重し、自律的・健康的な生活を求める子ども

《めざす教師像》 子どもが自己の発達の可能性を最大限に発揮することができるように導く教職員

- ・深い教育愛のもと、子ども・保護者・地域の考えや思い・願いに心と耳を傾ける教職員
- ・子ども一人一人の「らしさ」を大切に、「自分づくり」に寄り添う教職員
- ・未来を担う子どもたちに、夢や希望を育み、「多様な生き方」を支える教職員
- ・自らの職に誇りと責任をもち、互いのよさを認め、高まり合い、学び続ける教職員

《研究主題》※「すべての子どもの『深い学び』を確かにする」という意味合いの主題へ更新する。

方針

- 徳体知の調和を図り自分の生き方を育む
 - ・「育むべき資質・能力」の向上
 - ・「生徒指導の実践上の視点」の機能化
 - ・「人権」を守る組織的な指導・支援
- 「出羽」の強みを活かす
 - ・人的な強み
 - ・環境的な強み
 - ・伝統的な強み
- 学び合い、支え合う教職員になる
 - ・「チーム出羽」
 - ・OJTによる「担任力」等の向上
 - ・フットワーク（阿吽）

重点

- 教科横断的なカリキュラムマネジメントのもと、「出羽の強み」を活かす教育諸活動を推進する。
 - ①本地区及び本地区諸団体との連携協力により、児童の学習活動の深化や安全環境の確保を図る。
 - ②紅花再生の地・出羽地区の紅花文化に培う、郷土愛を育む総合的な学習等の実践（中・高学年）
 - ③『ほっとるうむ Dewa』『読み聞かせ・トトロの会』等との連携により、豊かなかわりや経験を創出する。
- 「主体的・対話的で深い学び」を実現することにより、子ども一人一人に育むべき資質・能力の向上を図る。
 - ①国語科・算数科・生活科／総合的な学習の時間の授業改善を切り口にし、他教科・領域等へ拡張する。
 - ②各教科等の見方・考え方を働かせ、学習内容のしくみの理解を深めることを重視する。
 - ③「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定」「安全・安心」の視点を全教育活動へ織り込む。
 - ④「指導と評価の一体化」を機能させながら、問題解決型の授業を日々展開する。
- 互いの存在や個性を尊重し、共に高まり合うことができる関係性の構築を機会指導によって行う。
 - ①「聴き合い」を核に、「～し合う」場を学年・学級活動や児童会・なかよし班活動へ意図的計画的に設定する。
 - ②あいさつや言葉遣い・見通しある行動・掃除や当番活動等、子どもの所作や立ち居振る舞いに磨きをかける。
 - ③いじめ・不登校への迅速かつ適切な対応、及び子どもに寄り添う教育相談・支援委員会・子どもを語る会等の実施により、子どもの人権を守る教職員のアンテナを鋭敏にする。
- 保護者・地域とともに力を合わせ、「地域とともにある」学校経営を行う。
 - ①学校運営協議会を中核に本校学校経営の方途を確かなものにし、地域学校協働活動を展開する。
 - ②PTA スローガン「子どもたちの笑顔が見たいから」のもと、子どもの成長を下支えるPTA 活動を行う。
 - ③新屋内運動場の完成を節目にし、本校の過去・現在・未来をつなぎ、各々の立ち位置を確かにする。